

- 博報堂の
- ソーシャルアクション

トップメッセージ

広告は人々の生活を明るく、豊かにするものです。

博報堂は「生活者発想」をフィロソフィーに、企業や社会のパートナーとして経済や社会を活性化し、豊かな生活文化を築くことを社業としてきました。

いわば、日々の仕事を通じて、生活者や社会を幸せにすることを志してきたのです。

そして、それはDNAとして社員の中に脈々と受け継がれており、博報堂はCSRの基本理念として「生活者や社会を幸せにすること」を謳っています。



社会にはかつてないほど様々な課題が山積しています。

私たちのアイデアやクリエイティビティを發揮しなければならない時であると考えています。

お客様先やメディアの皆さまとともに取り組むこと。仕事で培ったナレッジやスキルを活かし、自らが主体となって取り組むこと。私たちが社会に対して提供する価値は何か。今まで以上に真剣に考え、社員一人ひとりの意志と力を活かしながら、誠実に取り組んでまいります。

今回はCSR活動を中心に、「社会の課題」への取組みを「博報堂のソーシャルアクション」としてご紹介させていただきました。

今後も逐次新たな取組みをご報告してまいります。ご高覧いただければ幸いに存じます。

株式会社博報堂 代表取締役社長

CSR委員会委員長 戸田裕一

■ 博報堂の

■ ソーシャルアクション

博報堂のCSRについて

博報堂は2007年4月、CSR委員会を設立し、CSR活動を推進しています。博報堂のCSRは「生活者や社会を幸せにすること」を基本理念とし、大きく2つの活動から構成されます。

一つは「Basic CSR」。企業社会の一員として求められる基本的な責任を確実に果たしていきます。また、社内外のステークホルダーに対して博報堂がなす貢献を考え、実践していきます。

もう一つは「Advanced CSR」。社員一人ひとりの力を活かした取り組みです。社員一人ひとりが多様な形で社会と関わり、社員の中から自発的に湧き上がってくるアイデアや意思を原動力として推進していきます。会社はそのチャレンジを様々な形でサポートしていきます。

<Advanced CSR について>

(1) 一人ひとりが日々の仕事の中で、社会に対し果たすべき責任や成し得る貢献を考えると、「Advanced CSR」の基本姿勢です。博報堂の社員が関わる仕事は、実に多岐にわたります。それぞれの社員がそれぞれのフィールドで、「自分の仕事は社会に対して十分な配慮が出来ているか?」「もっと社会のために出来ることはないか?」といった視点から発想し、そのアイデアをお得意先やメディアの皆さまに提案し、実現へと繋げていきます。

(2) さらに、日々の仕事の中で培った力を、より多様な形で生活者や社会のために発揮していく方法を考えます。博報堂には、様々な領域での経験を持ち、様々なスキルやナレッジを身につけた「粒違い」の人材が揃っています。一つの社会的課題に対しても、それぞれが異なる解決のアイデアを生み出します。社員一人ひとりが自分の個性を活かし、あるいは個性を掛け合わせたチームを組んで、社会の幸せの実現に取り組んでいきます。